

多文化共生社会を

総社市と AMDA 定住外国人支援へ協定

総社市と国際医療救
援団体「AMDA」は
19日、市内の外国人が
地域社会の一員として
安心して暮らせるよう
「多文化共生に関する

協定」を締結した。同
市には3月末現在、自
動車関連産業で働く外
国人など1299人が
定住。人口に占める割
合も県内最高の1・91



協定調印後に握手する菅波代表（左から2人目）と
片岡市長（右隣）ら

%。市はAMDAの支
援で、外国人に母国語
で医療支援できる体
制作りなどに取り組
む。

AMDAは海外での
緊急医療支援のほか、
国内でも在日外国人の

電話による医療相談に
母国語で応じるAMDA
A国際医療情報センタ
ー（東京都）などを置
く。市は、外国人の社
会参加を検討する組織
を7月に立ち上げる予
定で、AMDA側に助
言や協力を求めていく
という。

また、小中学校での
国際理解教育の促進
や、国際貢献のための
人材育成でも協力する

方針。協定調印後、片
岡聡一市長は「AMDA
Aの豊富な経験を生か
し、外国人が地域活動
に参加しやすいまちづ
くりをしたい」と語っ
た。AMDAグループ
の菅波代表は「総社
市の取り組みが世界か
ら評価されるよう、さ
まざまなプログラムで
協力したい」と話した。

【井上元宏】